

I 第52週の発生動向 (2014/12/22~12/28)

1. インフルエンザについては、上十三保健所管内で**警報**が、東地方+青森市および五所川原保健所管内で**注意報**が新たに発令されました。また、八戸保健所管内で前週から**注意報**が継続しています。
2. 咽頭結膜熱については、弘前保健所管内で第45週から**警報**が継続しています。
3. 感染性胃腸炎については、患者報告数が前週の387人から372人に減少しました。
4. 伝染性紅斑については、八戸保健所管内で第47週から**警報**が継続しています。

II 第52週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		前週からの増減	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
(90) インフルエンザ	154	11.9	60	4.0	326	21.7	71	10.1	318	35.3	32	5.3	961	14.8	445	3	3.0	151	12.6
(79) RSウイルス感染症	36	4.5	13	1.4	9	0.9	3	0.6	9	1.5			70	1.7	1			36	4.5
(80) 咽頭結膜熱	3	0.4	10	1.1	4	0.4	1	0.2			1	0.3	19	0.5	1			3	0.4
(81) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0.8	10	1.1	10	1.0	2	0.4	1	0.2	3	0.8	32	0.8	-9			6	0.8
(82) 感染性胃腸炎	58	7.3	57	6.3	173	17.3	9	1.8	58	9.7	17	4.3	372	8.9	-15			58	7.3
(83) 水痘	8	1.0	12	1.3	1	0.1	3	0.6	1	0.2	9	2.3	34	0.8	1			8	1.0
(84) 手足口病															0				
(85) 伝染性紅斑	2	0.3	3	0.3	18	1.8			7	1.2			30	0.7	-15			2	0.3
(86) 突発性発疹	4	0.5	2	0.2	3	0.3			4	0.7			13	0.3	-5			4	0.5
(87) 百日咳															0				
(88) ヘルパンギーナ					1	0.1							1	0.0	1				
(89) 流行性耳下腺炎	1	0.1	1	0.1	3	0.3							5	0.1	-1			1	0.1
(91) 急性出血性結膜炎			1	0.3									1	0.1	1				
(92) 流行性角結膜炎							2	2.0					2	0.2	-2				
(97) クラミジア肺炎															0				
(98) 細菌性髄膜炎															0				
(100) マイコプラズマ肺炎					1	1.0					1	1.0	2	0.3	-5				
(101) 無菌性髄膜炎					1	1.0							1	0.2	1				
(82) 感染性胃腸炎(ロタウイルス)					1	1.0			1	1.0	2	2.0	4	0.7	-6				

は警報、は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患): 弘前3人、八戸1人、上十三2人、むつ1人 (2014年計:368人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 東地方+青森市1人 (2014年計:28人)
- ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(五類全数把握疾患): 弘前1人 (2014年計:3人)

IV 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日、検出数です。

- ・上気道炎患者(鼻汁、咽頭ぬぐい液、10/7~10/14)・・・ヒトライノウイルスA: 弘前(1)、八戸(1)、コクサッキーウイルスA9型: 弘前(1)、ヒトメタニューモウイルス: 八戸(1)
- ・下気道炎患者(鼻汁、10/2~10/31)・・・ヒトライノウイルスC: 弘前(7)、RSウイルスA: 弘前(3)、エンテロウイルス68: 弘前(2)、ヒトメタニューモウイルス: 弘前(4)、パラインフルエンザウイルス4型: 弘前(1)
- ・その他の患者(咽頭ぬぐい液、11/10)・・・HHV6B: 弘前(1)

感染症の窓

RSウイルス感染症 (五類定点把握疾患)

RSウイルス感染症は小児の急性呼吸器疾患で、4~5日の潜伏期間の後に、初感染の乳幼児では上気道症状(鼻汁、咳など)から始まり、その後下気道症状が出現します。38~39℃の発熱や、気管支炎、肺炎を併発することもあります。流行は、例年、季節性インフルエンザに先行して、夏頃より始まり秋に入り患者数が急増します。全国的には、2014年も8月下旬(第35週頃)から患者報告数が増加し、2014年第50週(2014年12月8~14日)の患者報告数は8,180例に達し、5週連続で増加しています。

本県においても、2014年は、第47週より連続増加がみられており、今後の動向に引き続き注意が必要です(図1)。なお、五所川原保健所管内を除く5保健所管内において同時期の過去10年間の平均を上回っています。

感染経路は鼻汁、喀痰など

予防

- ① 感染児あるいは感染の疑いのある児に接する時には、上着、エプロン、マスクなどを着用
- ② 石鹸を使っての流水での手洗いや、アルコールでの手指の消毒
- ③ 食器類、おもちゃ、ベッドの手すり、ドアノブなどの接触源を塩素系消毒剤やアルコールなどでこまめに消毒

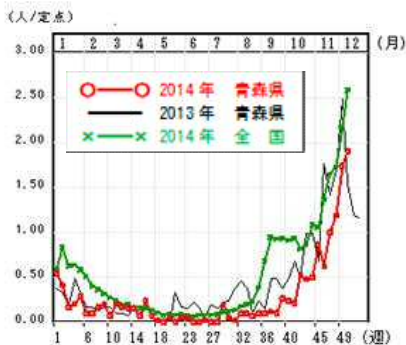


図1 2014年 週別推移 (第50週現在)

が手指、器物を介する接触感染、あるいはそれらの飛沫感染です。

【参考】厚生労働省 RSウイルス感染症に関するQ&A

(http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html)

V 県内インフルエンザ情報

第52週の患者報告数は、961人で、迅速診断キットによる型別はA型935人、B型3人、不明23人でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数 (人)

週	44	45	46	47	48	49	50	51	52
保健所名									
東地方								3	3
弘前							7	28	60
八戸					1	22	65	175	326
五所川原						1	23	50	71
上十三					1	32	76	204	318
むつ				2	2		1	15	32
青森市	4		1		1	3	11	41	151
合計	4	0	1	2	5	58	183	516	961

A型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	44	45	46	47	48	49	50	51	52
保健所名									
東地方								3	3
弘前							7	28	59
八戸					1	21	54	170	321
五所川原						1	22	50	70
上十三					1	32	74	200	305
むつ				2	2		1	15	32
青森市					1	3	10	40	145
合計	0	0	0	2	5	57	168	506	935

B型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	44	45	46	47	48	49	50	51	52
保健所名									
東地方									
弘前									1
八戸						1	1		
五所川原							1		1
上十三									
むつ									
青森市	4		1						1
合計	4	0	1	0	0	1	2	0	3

年齢区分別(人)

週	44	45	46	47	48	49	50	51	52
～5ヶ月								1	3
～11ヶ月						1	1	6	9
1歳						4	3	9	23
2歳							5	15	30
3歳						1	9	11	27
4歳						3	8	20	33
5歳						4	12	23	34
6歳					1	9	12	25	53
7歳						5	11	21	32
8歳						6	15	20	39
9歳						7	13	25	47
10～14歳	2				1	9	46	159	227
15～19歳							19	36	51
20～29歳			1		1	1	2	31	82
30～39歳				1	1	1	5	34	79
40～49歳	2				1	3	7	33	63
50～59歳				1		1	7	13	51
60～69歳						2	4	11	31
70～79歳						1	3	9	27
80歳以上							1	14	20

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2014年第36週～第52週）

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
36	H26.9.1 ~ H26.9.7	デング熱1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
37	H26.9.8 ~ H26.9.14					腸管出血性大腸菌感染症1人	
38	H26.9.15 ~ H26.9.21						
39	H26.9.22 ~ H26.9.28					腸管出血性大腸菌感染症1人	
40	H26.9.29 ~ H26.10.5		レプトスピラ症1人			腸管出血性大腸菌感染症2人	
41	H26.10.6 ~ H26.10.12			カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人			
42	H26.10.13 ~ H26.10.19			つつが虫病1人 カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人 ジアルジア症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
43	H26.10.20 ~ H26.10.26		急性脳炎1人				
44	H26.10.27 ~ H26.11.2					クリプトスポリジウム症10人	
45	H26.11.3 ~ H26.11.9		急性脳炎1人				腸管出血性大腸菌感染症1人
46	H26.11.10 ~ H26.11.16	つつが虫病1人					
47	H26.11.17 ~ H26.11.23			A型肝炎1人			
48	H26.11.24 ~ H26.11.30	侵襲性肺炎球菌感染症1人				腸管出血性大腸菌感染症1人	
49	H26.12.1 ~ H26.12.7	つつが虫病1人	急性脳炎1人			腸管出血性大腸菌感染症3人	
50	H26.12.8 ~ H26.12.14		劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人				
51	H26.12.15 ~ H26.12.21	腸管出血性大腸菌感染症3人	後天性免疫不全症候群1人	アメーバ赤痢1人			
52	H26.12.22 ~ H26.12.28	腸管出血性大腸菌感染症1人	カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人				

VII 結核(二類全数把握疾患) (2014年第42週～第52週)

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
42	H26.10.13 ~ H26.10.19			3	1	2	
43	H26.10.20 ~ H26.10.26	2	2		2	3	
44	H26.10.27 ~ H26.11.2	1	1	1	1	1	
45	H26.11.3 ~ H26.11.9	3	2	2			1
46	H26.11.10 ~ H26.11.16	1	2	1			
47	H26.11.17 ~ H26.11.23	1	2	3	1		
48	H26.11.24 ~ H26.11.30		4	2	1		
49	H26.12.1 ~ H26.12.7		1			1	
50	H26.12.8 ~ H26.12.14	2	1		4	1	
51	H26.12.15 ~ H26.12.21			1	1		
52	H26.12.22 ~ H26.12.28		3	1		2	1

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2014年第1週～第50週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	オウム病	回腸熱	Q熱	コクシジウム症	重症熱性血小板減少症候群	チクンギニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ポツリス症	マラリア	野兔病	ラム病
累積報告数	24290	4	143	4023	53	15	131	421	18	9	1	1	1	59	12	246	332	232	2	10	1	57	1	16
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	水痘(入院例)	播種性クリプトコックス症	薬剤耐性アシネトバクター感染症	
累積報告数	1140	46	1040	214	418	98	164	255	1416	62	180	33	1615	9	1534	119	48	315	460	238	110	21	12	

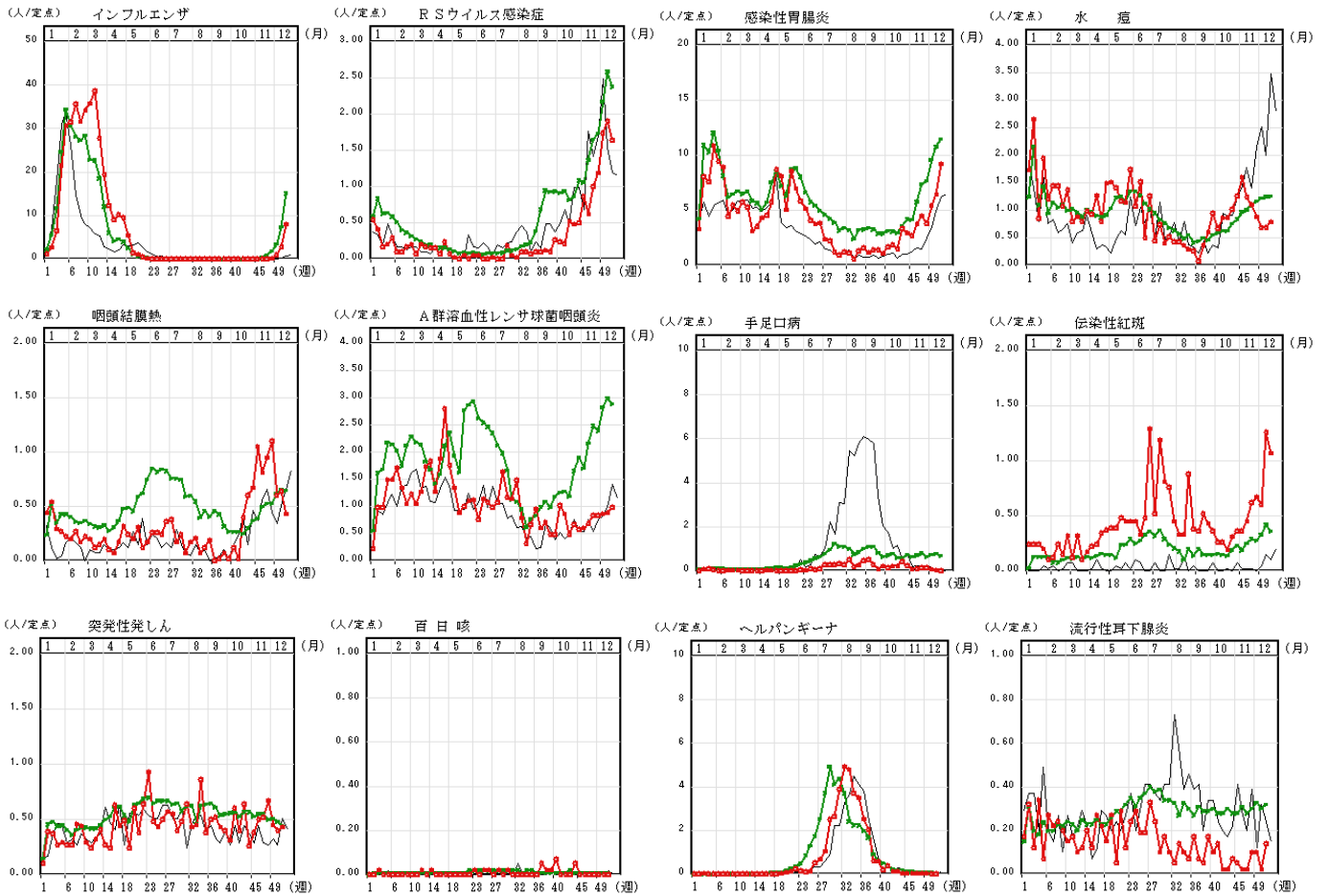
青森県

(2014年第1週～第52週累計)

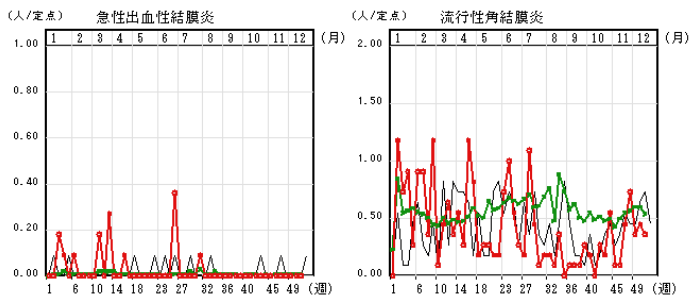
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	カルバペネム耐性腸内細菌感染症			
累積報告数	368	28	2	4	13	1	3	1	7	11	10	1	2	5	1	1	7	4	1	1			3

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2014年第51週)

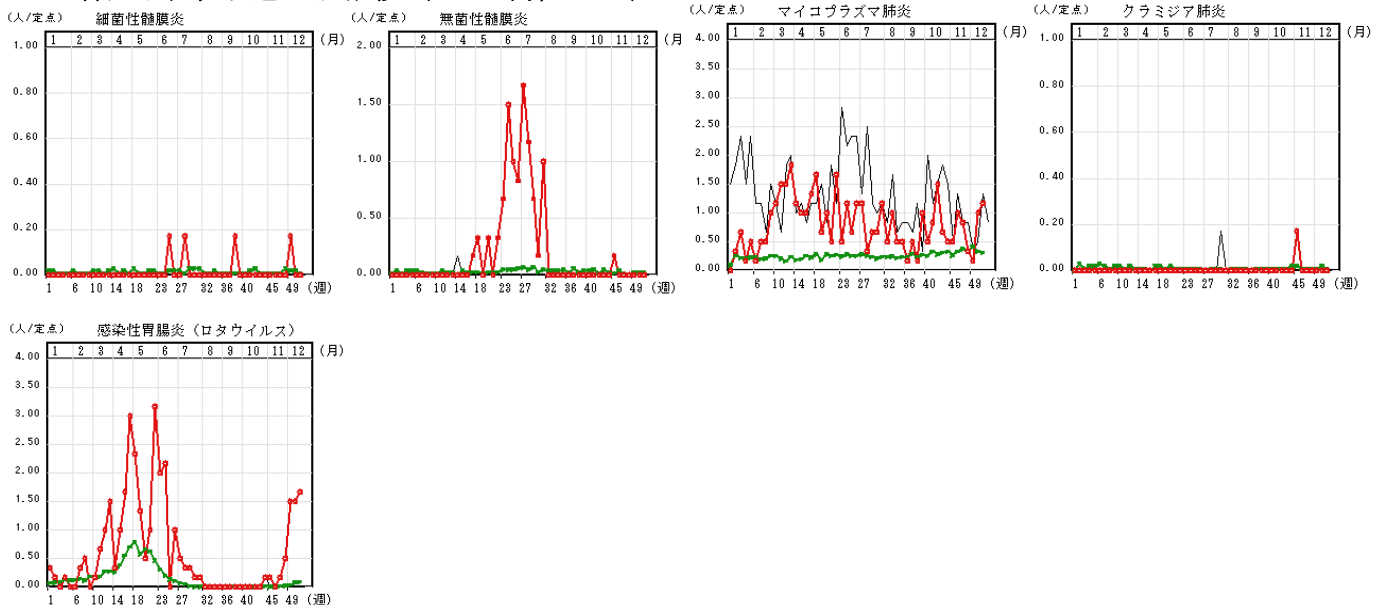
グラフの説明 ○—○は2014年青森県、——は2013年青森県、×—×は2014年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 (2014年第51週)



XI 基幹定点把握疾患週別推移 (2014年第51週)



XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成26年第51週-第52週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第51週	児童・婦人関係施設等	23	上十三保健所
第52週	児童・婦人関係施設等	2	弘前保健所
	介護・老人福祉関係施設	23	青森市保健所

平成26年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-21週	22-26週	27-30週	31-35週	36-39週	40-43週	44-48週	49-52週	
介護・老人福祉関係施設	件数											0	1	1
	発症者数											0	23	23
児童・婦人関係施設等	件数											0	2	2
	発症者数											0	25	25
障害関係施設	件数											0	0	0
	発症者数											0	0	0
その他施設	件数											0	0	0
	発症者数											0	0	0
計(月別)	件数											0	3	3
	発症者数											0	48	48